

## 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	192人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	長胴太鼓
使用学年及び人数	高等部生徒 55人
使用頻度	毎月10日間
使用状況	<p>5月の体育祭、12月の文化祭(学習発表会)を中心に、音楽の授業や特別活動の際に活用している。</p> <p>特に、5月の体育祭や12月の文化祭の発表に向けて、多くの生徒が交代で使用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>開校時に他校から譲り受けた太鼓が4台ほどあった。少し小型であったことと、数も少ないことで、生徒による演奏も迫りに欠ける演奏であったが、今回、大きい太鼓をいただいたことで、演奏の迫力も増し、生徒たちの演奏の意気込みが変わった。</p> <p>迫力ある演奏が出来るということが生徒の達成感として芽生え、演奏を聞いている他の生徒や中学部、小学部の児童生徒にとっても、音楽への興味関心をもつことにつながるという効果が現れている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>太鼓の迫力は、音楽の活動だけではなく、演武という集団行動や協調性にもつながる教材となった。練習の成果だけではなく、生徒間の協調性を発表できるものとして更なる活用を考えていきたい。</p>
その他希望や所感など	<p>文化祭での太鼓の演武は、生徒の意欲に留まらず、迫力があり、見ている側も圧巻であった。今後も有効に活用し大切に使用させていただきます。</p>

## 2. 活用の様子



12月の発表会に向けて練習中

